





取扱説明書

注意!

安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱 説明書をお読みください。本製品の設置、セッ トアップ、オペレーションを行なう際は、この 取扱説明書をよくお読みになり、指示に従って ください。また、メンテナンス、サービスを受 ける場合には、適切な資格のあるサービスマ ンに依頼してください。この製品は、ヨーロッ パと国家規制要件に準拠しており、適合が証 明されています。それぞれの声明と文書はメー カーに保管されています。

Reloop Trademark Global Distribution GmbH & Co. KG Schuckertstr. 28 48153 Muenster / Germany © 2024

注意!

安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本製品の設置、セットアップ、オペレーションを行なう際は、こ の取扱説明書をよくお読みになり、指示に従ってください。また、メンテナンス、サービスを受ける場合には、適切な資格のあるサービ スマンに依頼してください。この製品は、ヨーロッパと国家規制要件に準拠しており、適合が証明されています。それぞれの声明と文書 はメーカーに保管されています。

Reloop Mixtour Pro をパッケージから取り出し、最初の操作の前に、デバイスが輸送中に目に見えて損傷していないことを確認してください。電源ケーブルや筐体に損傷が見つかった場合は、デバイスを操作せずに、専門の販売店にお問い合わせください。

安全にご使用いただくために

注意!

電源を取り扱うときは十分にご注意ください。この定格電圧は深刻な感電につながる可能性があります。取扱説明書の定める使用方法を 遵守されない場合の損害はいかなる補償請求も対象外とします。メーカーは、資産に対する損害、または安全上の指示を遵守しない不 適切な使用による人身損害の責任を負いません。

警告!

火災や感電を防ぐため、装置を水や液体にさらさないでください!また、本体は分解しないでください!

- ・本製品は完全な状態で工場を出荷しています。この状態を維持してリスクのないオペレーションを確実にするためにユーザーは、この取扱説明書に記載されている安全に関する指示と警告を読む必要があります。
- ・安全性と認可(CE)の理由から、本製品の未許可の改造、修正は禁止されています。本製品の未許可の修正に起因する損害の場合、 どのような保証請求も除外される点にご注意ください。
- 外部から交換可能な消耗部品を除いて、製品の内部はメンテナンスを必要とするパーツはありません。資格を有するスタッフがメンテナンスを行なう以外は、保証が適用されません。
- ・本製品を完全にセットアップしたあとに、電源を供給するだけの状態であることを確認してください。常にメインプラグを最後に接続して ください。製品にUSBケーブルを接続する際にメインスイッチが「オフ」の位置にあることを確認してください。
- ・規格に準拠したケーブルのみをご使用ください。すべてのジャックやネジが締められ、正しく接続されていることを確認してください。ご 不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にご確認ください。
- ・ 本製品をセッティングする際に、ケーブルが鋭い物によって押しつぶされ、損害を受けないようにご注意ください。
- ケーブルが他のケーブルと接触しないようにご注意ください。USB ケーブルを接続する際は十分にご注意ください。濡れた手でこれらの パーツに決して触れないでください。
- ・使用しない場合、また掃除を行う前には本製品を電源アウトレットから外してください。その際、必ずケーブルのプラグを持つようにしてください。ケーブルを持って引き抜かないようにしてください。
- 本製品は、水平の安定した不燃性の高い場所に設置してください。
- 本製品を設置し、操作を行う場合には、激しい衝撃を与えないでください。
- ・ 設置する場所は、本製品が過度の熱、湿度、ほこりにさらされない場所に設置してください。ケーブルが煩雑に置かれていないことを確認してください。上記を守れない場合、使用者を危険にさらす場合があります。
- ・本製品の上に液体をこぼしやすい容器を置かないでください。万が一、液体が本製品内にこぼれた場合、直ちに電源プラグを抜いてください。再度使用する場合には、資格のあるサービス技術者によって確認された製品をご使用ください。製品内部への液体の混入による 損害は保証の対象外となります。
- ・極端な高温(35°C以上)、または極端な低温(5°C以下)で本製品を使用しないてください。直射日光、ラジェーター、オーブン(閉じられた車内も含みます)などの熱源に直接触れるような場所に本製品を置かないでください。冷却ファンや通気孔をふさがないでください。常に十分な換気を確保してください。
- ・本製品は、冷えた環境から暖かい環境に移動した直後に動作させないでください。この状況で起こる結露によって故障の原因となります。
 周囲の温度に達するまで電源を入れずにお待ちください。
- コントロールやスイッチには、クリーニング剤や潤滑油などのスプレーを使用しないでください。本製品は湿った布できれいに拭きとるだけにしてください。クリーニングのために石油ペースの溶剤や、洗浄液を使用しないてください。
- ・本製品を、移動や輸送する際、購入時に梱包されていた箱をご使用ください。
- ・操作を始めるときは、フェーダーやアンプのポリュームコントロールを最小レベルに設定してください。またラウドスピーカーのスイッチを "OFF "の位置にします。スピーカーへのダメージを避けるため、8~10秒待って音量を上げてください。
- ・ 商業的な施設では、管理者や責任者によって定められた事故防止の規則を遵守しなければなりません
- ・学校、トレーニング施設、趣味、ワークショップなどで本製品を使用する際は、訓練されたスタッフの責任のもとで監視する必要があります。
- 後に質問や問題が発生した場合、参照するためにこの取扱説明書を安全な場所に保管してください。

規則に従った使用方法について

本機を取扱説明書に記載されている以外の目的で使用した場合、製品に損傷を与え、保証の権利が失われることがあります。また、目的 以外に使用すると、ショート、火災感電などの危険があります。

メンテナンス

- デバイスの技術的な安全性については、主電源ラインやケーシングの損傷、ロータリースイッチやスライディングスイッチなどの消耗部品の摩耗などを定期的にチェックしてください。
- ・安全な操作ができなくなったと思われる場合には、デバイスを切り離し、誤って使用されないように保護する必要があります。USB ケー ブルは必ずデバイスやコンピューターからから外してください。
- デバイスに目に見える欠陥がある場合、デバイスが機能しなくなった場合、好ましくない条件での長期保管や大きな輸送ストレスの後には、 安全な操作ができなくなっていると考える必要があります。

各部の名称



31. Kensington Lock

ケンジントンロック

16. Loop In-Out-Ex Buttons ループ イン - アウト - 解除 ボタン

3

MIXTOUR PROとの接続



電源:

再生デバイスの電源をMixtour Proの電源ポート(28)に接続します。デバイスの電源がLightning接続を使用している場合は、付属の USB-Cケーブルを使用します。再生デバイスはMixtour Proで充電できます(最小20W電源)。

USB接続:

付属のUSB-Cケーブル、またはLightning-USB-Cケーブルを使用して、再生デバイスをReloop Mixtour ProのUSB-C接続ポート (27) に 接続します。

マスター出力:

メインシステム (アクティブスピーカーなど)をマスター出力 (RCA) (26) に接続します。

注:

Mixtour Proは、十分な出力を持つUSB-Cデバイス (ラップトップやiPadなど) からバスパワーで駆動できます。以下の例では、Mixtour ProはUSB-C電源ポート (29) を介して目的の再生デバイスに接続されています。



DJAY PROのインストールと接続

DJAY PRO iPad/iPhoneのインストール:

- QRコードをスキャンするか、App Storeでdjay Proアプリを検索してダウンロードします。
- 再生デバイスをMixtour ProのUSB-C接続ポート (27) に接続し、電源をReloop Mixtour ProのUSB-C電源ポート (28) に接続します。
- 以前にダウンロードしたdjay Proアプリを開きます。

Mixtour Proが自動的に検出され、使用できるようになります。

DJAY PROウインドウズ版のインストール:

- Microsoft Storeでdjay Proアプリを検索してダウンロードします。
- コンピューターをMixtour ProのUSB-C接続ポート(27)に接続します。
- ダウンロードしたdiay Proアプリを開きます。

Mixtour Proが自動的に検出され、使用できるようになります。

低レイテンシー用のASIOドライバーは、https://dirigent.jp/reloop/mixtour-pro で入手できます。 このドライバーはオプションであり、必須ではありません。

DJAYアンドロイド版のインストール:

Reloop Mixtour ProをAndroidデバイスで使用する場合、Androidデイバスの機種によってMixtour Proが認識されないことがあります。 Androidデバイスで使用する場合は、 でAndroidデバイスに関する最新情報がないかご確認ください。djay ProアプリはGoogle Playス トアからダウンロードできます。

操作

Mixtour Pro は高度なマッピング機能を提供します。これらの機能の概要については、次のリンクを参照してください: https://dirigent.jp/reloop/mixtour-pro

1. MASTER VOLUME マスターボリューム

マスターボリューム(1)は、マスター出力のボリュームを調整します。

2. CHANNEL GAIN チャンネルゲイン

チャンネルゲイン(2)は、チャンネルの出力ボリュームを調整します。

3. BROWSE ENCODER ブラウズエンコーダー

ブラウズエンコーダー (3) を使用して、音楽ライブラリ内を移動します。 ブラウズ エンコーダーを押して選択を確定します。 Shift (20) +ブラウズエンコーダーを押すと、1つ前のステップに戻ります。 モード (6) を押しながらブラウズエンコーダーを回すと、 現在再 生中のトラックを参照できます。

4. TRACK LOAD BUTTONS トラックロードボタン

トラックロードボタン(4)を押して、目的のデッキにトラックを割り当てます。モード(6)を押したままトラックロードボタンを押すと、デッ キ3と4に切替できます。Shiftキーを押しながら左のトラックロードボタンを押すと、「マイコレクションライブラリ」セクションを左に移動 し、右のトラックロードボタンを押すと右に移動します。

5. SPLIT BUTTON スプリットボタン

8個のパフォーマンスパッドを分割します。左の4個のパッドは左チャンネル、右の4個のパッドは右チャンネルをコントロールします。

6. MODE BUTTONS モードボタン

モードボタン (6) を押すと、パフォーマンスモードセレクターがアクティブになります。対応するパッドを押して目的のパフォーマンスモード を選択します。モード+選択したボタンを押すと、デバイスラベルに表示される第2レイヤーの機能がアクティブになります。

7. PERFORMANCE SECTION パフォーマンス セクション

パフォーマンスパッド (7) は、選択したパフォーマンスモードをトリガーする色分けされたドラムパッドです。さまざまなパフォーマンスモードは、モードボタン (6) を押したまま、選択したパフォーマンスパッドモードを同時に押してアクティブにできます。次のパフォーマンスモードが利用可能です:



- Hot Cue Mode ホット キュー モード

これにより、使用可能な8個のキューポイントがトリガーされ、パッドが対応する色で点灯します。シフト (20) と対応するキューパッドを 押すと選択したキューポイントが削除できます。

- Auto Loop Mode オートループ モード

8個のパフォーマンスパッドにはそれぞれループ長が異なります。オートループモードを押すと、すぐにループ長に基づいてアクティブになります。もう一度押すと、オートループは非アクティブになります。

- Bounce Loop バウンスループ

8個のパッドのいずれかを押すと、トラックはループします。ループ長はパッドごとに異なります。

- Sampler サンプラー

ドラムパッドを使用して、サンプルバンク内の対応するサンプルをトリガーします。

- Pitch Cue ピッチキュー

パッドを押してトラックのキーを設定します。シフトキーを押しながらパッドを押すと、異なるキューポイントに切り替えられます。

- Saved Loops 保存されたループ

トラックごとに最大8個のホットループのパンクがあり、すぐに呼び出せます。これらのホットループは、保存されたキューポイントのよう に機能します。シフトキーを押しながら目的のパッドを押すと、保存されたループをすぐにトリガーします。

- Instant FX インスタントFX

ドラムパッドには、対応するパッドを押すことでアクティブになる様々なインスタントエフェクトがあります。

- Neural Mix™ ニューラルミックス

パッドを使用して、様々なNeural Mix™の要素をコントロールします。

8. EQUALIZER (3-BAND/NEURAL MIX™ EQ) イコライザー (3バンド/ニューラルミックスEQ)

チャンネルの高域、中域、低域、または異なるNeural Mix™のパート (Vocals / Harmonic / Drums) をコントロールします。

9. NEURAL MIX™ BUTTONS ニューラルミックスボタン

ニューラルミックスEQと標準的なEQを切り替えます。

10. FILTER フィルター

フィルターは12時の位置でオフです。時計回りに動かすとハイパスフィルターとして、反時計回りに動かすとローパスフィルターとして動作します。

11. FX PADDLES FXパドル

FXパドル (12) で選択していたエフェクトを有効にします。エフェクトは中央の位置でオフです。パドルを前方位置にロックすると、パドルを 中央に戻すまでエフェクトはオンのままです。エフェクトを一時的に使用する場合は、エフェクトを使用している間パドルを引きます。FXパ ドルを放すと、自動的に中央に戻ります。

12. FX DRY/WET CONTROL FX ドライ/ウェットコントロール

FXコントロール(13)は、選択しているエフェクトのかかり具合の強さを調整します。エフェクトはドライの位置でオフです。FXコントロール をウェット位置の方に時計回りに動かすと、エフェクトのかかり具合が深くなります。ドライ/ウェットコントロールは、両方のデッキに有効で す。

13. FX PARAMETER BUTTONS (FX SELECT) FXパラメーターボタン (FXセレクト)

パラメーターボタン(14)は、アクティブなモードに応じてパラメーターの機能がコントロールできます(FXパラメーター調整など)。モード (6)+FXパラメーターボタンを押すとエフェクトを選択できます。FXパラメーターボタンは両方のデッキに有効です。

14. HEADPHONE CUE BUTTONS ヘッドホンキューボタン

ヘッドホンキューボタン (15) で各チャンネルのオーディオ信号をモニターできます。シフト (20) を押しながら左のヘッドホンキューボタン を押すと、クロスフェーダーFXがアクティブになります。シフトキーを押しながら右のヘッドホンキューボタンを押すと、クロスフェーダー FXのテンポプレンドがアクティブになります。

15. LOOP IN-OUT-EX BUTTONS ループ イン-アウト-解除ボタン

ループイン-アウト・解除ボタン (16)を1回押すと、ループの開始点が設定できます。もう一度押すと、ループの終了点が設定できます。3回押 すとループが終了します。シフト (20) +イン-アウト・解除を押すと、自動ループが設定できます。

16. SYNC BUTTONS シンクボタン

シンク (17) を押すと、1つのトラックのBPMが他のデッキのテンポに自動的に同期します。もう一度押すとシンクが無効になります。 シフト (20) +シンクを押すと、現在再生中のトラックのキーに合わせることができます。

17. CUE BUTTONS キューボタン

キューボタン (18) は、一時的なキューポイントを作成し、トリガーします。再生中にキューボタンを押すと、再生が停止し、設定されたキュー ポイントに自動的に戻ります。再生を一時停止してからキューボタンを押すと、そのトラックの位置に新しいキューポイントが作成されます。 モード (6) を押したままキューボタンを押すと、トラックのキーが低いキーに設定されます。シフト (20) を押したままキューボタンを押す と、ビッチを下向きにペンドします。

18. PLAY/PAUSE BUTTONS 再生/一時停止ボタン

再生/一時停止ボタン (19) は、選択したデッキを再生/一時停止します。モード (6) を押したまま再生/一時停止ボタンを押すと、トラックの キーが高いキーに設定されます。シフト (20) を押したまま再生/一時停止ボタンを押すと、ピッチを上向きにペンドします。

19. SHIFT BUTTON シフトボタン

シフト(20)+選択したボタンを押すと、デバイスラベルに表示された第2レイヤーの機能がアクティブになります。

20. LINE FADERS ラインフェーダー

ラインフェーダー(21)は、チャンネルの出力ボリュームを調整します。

21. CROSSFADER クロスフェーダー

クロスフェーダー(22)は、左と右のチャンネルを切り替えます。

22. HEADPHONE CUE VOLUME ヘッドホンキューボリューム

ヘッドホンキューボリュームは、ヘッドホンの音量を調整します。

23. HEADPHONE CUE MIX ヘッドホンキューミックス

ヘッドホンキューミックス (24) は、チャンネルとヘッドホン経由のマスター信号のボリュームパランスをミックスします。

24. MONO/STEREO SWITCH モノ/ステレオスイッチ

モノ/ステレオスイッチ(25)は、マスター出力の信号をステレオあるいはモノラル出力のいずれかを選択します。

システム要件

iOS/iPadOS、Android、Mac、Windowsの最新のシステム要件は、algoriddim.comでご確認いただけます。

技術仕様

出力端子:	メインRCA端子(アンバランス) / ヘッドホン端子 3.5 mmステレオジャック / USB-Cデータ端子
サウンドカード解像度:	24-bit D/Aコンバーター搭載・4系統出力USBサウンドカード
電源:	USB-C DC IN 5-20V / 20 W (最大PD 45 W)
サイズ:	129 x 310 x 51 mm (W x D x H)
質量:	956 g

メイン出力 (RCA)

レベル:	18 ±1 dBu
THD+N:	< 0.03%
S/N:	< -100 dB
周波数応答:	±2 dB / 20~20 KHz
セパレーション:	>100 dB

ヘッドホン出力 (3.5mm TRS) @ 32 Ω Loading

レベル:	4 ±1 dBu
THD+N:	< 0.03%
S/N:	< -100 dB
周波数応答:	±2 dB / 20~20 KHz

※ USB-C - USB-Cケーブル / 取扱説明書付属

MIXTOUR

カスタマーサポート 本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigentカスタマーサポートまでご連絡ください。なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigentへのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。 Dirigentへのご登録方法: Reloop製品のDirigentユーザー登録ページ(https://dirigent.jp/mypage-reloop-register)にアクセスし、ご登録をお願いいたします。 Dirigentカスタマーサポート: メールでのお問い合わせは、ユーザー登録後、下記Dirigentマイページのお問い合わせフォームをご利用ください。 Dirigent マイページ・ログイン: https://dirigent.jp/mypage-log-in Dirigent マイページ・ログイン: https://dirigent.jp/mypage-log-in

株式会社銀座十字屋ディリゲント事業部 https://dirigent.jp

CELCOP[®] www.reloop.com

Reloop Distribution Global Distribution GmbH & Co. KG, Schuckertstrasse 28, 48153 Muenster / Germany Fax: +49.251.6099368

aen

- Apple、iPhone、iPad、Apple Music、Mac、Mac OSは、米国およびその他の国におけるApple Inc.の登録商標です。
- App Storeは、Apple Inc.のサービス マークです。
- iOSは、米国およびその他の国におけるciscoの商標記号を含む商標です。
- Windowsは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。
- Beatportは、Beatport, LLCの商標です。
- Soundcloudは SoundCloud Limitedの商標です。
- DJAY®、DJAY PRO® NEURAL MIX®、およびALGORIDDIM®は、米国およびその他の国におけるAlgoriddim GmbHの登録商標です。
- NEURAL MIX は、米国およびその他の国における特許で保護されており、ALGORIDDIM GmbHに譲渡され、www.algoriddim.com/patentsで識別されます。
- 発行された特許は、これらに限定されません: US Patent No.10,887,033 B1、US Patent No.11,216,244 B2、US Patent No.11,347,475 B2、JP Patent

No.6926354 B118:13

- Tidalは Aspiro ABの商標です。

- Beatsourceは Beatsource, LLCの商標です。



Japanese Distribution:

Portable 4-Deck DJ Controller VOLTAGE DC 5 - 20V USB 2 - 3A Ginza Jujiya Co., Ltd.



This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful Interference, and (2)this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

製品の仕様および外観は、予告なく改変される場合があります。また、本取扱説明書内の図は、製品を模したイラストです(誤植・誤表記は除く)。